

# 寺檀の思想

おおくわ 大桑 ひとし 齊著・まつかね なおみ 松金直美 解説

▼文庫判・並製カバ！282頁・定価1,310円

2023年7月刊行



近世に生まれた「寺檀」の関係を近代以降にまで存続せしめたものは何だったのか。家を基本構造とする幕藩制下の仏教思想を明らかにすることから近世社会の本質をも究明する。近世仏教史が研究課題とすべき原点を指し示す名著。

## 【目次】

はじめに——概観をかねて

序章 加賀の任誓

第一章 寺檀関係の形成

第二章 寺請体制

第三章 寺請体制の思想原理

第四章 民衆仏教と教団仏教

研究史と文献

付録一 旦那取決め覚書

付録二 農民鑑

付録三 家久弁

解説 松金直美

### ◆著者・解説者略歴

大桑 齊（おおくわひとし）

一九三七年金沢市生まれ。一九六〇年金沢大学文学部史学科卒業、一九六七年大谷大学大学院博士課程満期退学。一九六九年大谷大学文学部助手、一九七四年同専任講師、一九七九年同助教を経て、一九八四年同教授、二〇〇三年退職、大谷大学名誉教授。二〇二〇年逝去。  
主著に、『日本近世の思想と仏教』法蔵館、一九八九年、『戦国期宗教思想史と蓮如』法蔵館、二〇〇六年、『教如 東本願寺への道』法蔵館、二〇一三年、『民衆仏教思想史論（ペリかん社、二〇一三年）、近世の王権と仏教（思文閣出版、二〇一五年）、江戸 真宗門徒の生と死（方丈堂出版、二〇一九年）、本願寺教如教団形成史論（法蔵館、二〇二〇年）など多数。

松金直美（まつかねなおみ）

一九七九年富山県氷見市生まれ。大谷大学大学院博士後期課程（仏教文化）満期退学。博士（文学）。大谷大学文学部任期制助教、同朋大学仏教文化研究所所員を経て、真宗大谷派教学研究所研究員。真宗大谷派擬講。高岡教区安専寺衆徒。同朋大学仏教文化研究所客員所員。大谷大学非常勤講師、龍谷大学非常勤講師。専門は近世仏教史・真宗史。  
論文に「近世における東本願寺周辺地域の被差別部落と真宗（教学研究所編『教化研究』第一六八号、真宗大谷派宗務所、二〇二二年）、「近世近代における聖徳太子信仰展開―井波瑞泉寺とその周辺地域―」（教学研究所編『教化研究』第一六六号、真宗大谷派宗務所、二〇二〇年）など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
大桑 齊著・松金直美解説	
法蔵館	
定価 1,310円	
住所	
お電話	
お名前	
寺檀の思想	
【法蔵館文庫】	
ISBN: 978-4-8318-2649-7 C1121	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教史・近世